

令和6年3月19日

「理工チャレンジ」事業説明会

～男女共同参画主管課・教育委員会・学校教員の皆様へ～

内閣府男女共同参画局推進課

理工チャレンジ事務局

目次

1. 概要
2. 理工チャレンジ事業一覧
 2. 1 STEM Girls Ambassadors派遣事業
 2. 2 夏のリコチャレ
 2. 3 若手理工系人材による出前授業
 2. 4 動画公開セミナー（シンポジウム）
 2. 5 調査研究
 2. 6 ウェブサイト「理工チャレンジ」
 2. 7 理工系女子応援ネットワーク会議

理工チャレンジ (リコチャレ!) ~女子生徒等の理工系への進路選択を促進~

現状

- ・大学(学部)の理工系の学生に占める女性の割合: 理学系 27.9% 工学系 16.1% (文部科学省「令和5年度学校基本調査」)
- ・研究者の採用に占める女性の割合(自然科学系): 理学系 16.3% 工学系 14.5% (文部科学省調べ 令和元年)

科学技術・学術は持続可能な発展のための基盤であり、**多様な視点や発想**を取り入れていく必要があります。
そのためには女性研究者・技術者がその能力を最大限に発揮できるような環境を整備することが求められます。科学技術系の進路への**興味関心や理解を向上**させるための取組を推進し、次代を担う**女性の科学技術人材**を育成します。
(第5次男女共同参画基本計画より抜粋・加筆)

根拠

- 第5次男女共同参画基本計画: 第4分野科学技術・学術における男女共同参画の推進 4.女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成
- 女性活躍・男女共同参画の重点方針2023: IV女性の登用目標達成(第5次男女共同参画基本計画)の着実な実行 (5)科学技術・学術分野
- 第6期科学技術・イノベーション基本計画 骨太方針2023: 第2章 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策 2. (1)多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築
- : 第2章 新しい資本主義の加速 4. 包摂社会の実現 (女性活躍)

取組

夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・令和5年度実績 96団体162イベント実施(約6,300名が参加)

理工系女子応援ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

STEM Girls Ambassadorsによる理工系女性人材育成

- ・STEM Girls Ambassadorsを派遣し、全国各地で講演等を開催

リコチャレ応援団体

- ・理工チャレンジの趣旨に賛同する大学
- ・企業・学術団体等 **885**団体
(令和5年10月現在)

理工系女子応援ネットワーク

リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体 **218**団体
(令和5年10月現在)

若手理工系人材(ロールモデル)による出前授業「令和5年度新規」

- ・人口5万人未満の市区町村の自治体や学校へ、企業・大学等の理工系人材を派遣

ウェブサイト 理工チャレンジ

- ・イベント情報
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ



シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者(ロールモデル)による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性(ロールモデル)提示等

調査研究

- ・女性生徒等の理工系分野への進路選択支援を目的とした各種支援策の調査研究、事例集作成
- ・女子生徒等の理工系分野への進路選択を阻害するアンコンシャス・バイアスの払拭を目的とする研修用動画制作



STEM Girls Ambassadors



【おすすめポイント！】

- 各地方公共団体や学校が実施するセミナー、シンポジウムでの講演に、**理工系の最前線で活躍するSTEM Girls Ambassadors**を派遣します。
- 講師の謝金・旅費は内閣府が負担**しますので、原則申請者の費用負担はございません。

【申請先】

(URL)
<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0429.html>



STEM Girls Ambassadors

派遣費用は
内閣府が
負担します！

理工系女子応援大使のご案内

理工系の最前線で活躍するSTEMGirls Ambassadorsが、理工系の魅力をお伝えします。
講演会やイベントへの派遣を希望する学校や地方公共団体はお気軽に御相談ください！



※派遣費用については内閣府が負担します。(謝金・旅費)

※主に女子中高生を対象としています。小学生や男子生徒、保護者等の御参加も歓迎します。

問合せ先

内閣府男女共同参画局推進課理工イチャレンジ事務局
03-6257-1181 g.riko-challe@cao.go.jp



STEM Girls Ambassadors派遣申請フォームはこちら <https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0429.html>

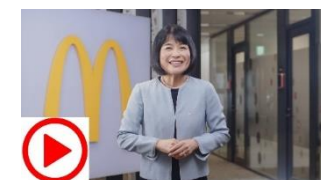
【事業概要】

女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するため、理工系分野で活躍する多様な女性の姿（ロールモデル）を示すとともに、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する気運醸成を図ることを目的。

ロールモデルの提示策を強化すべく、令和4年度に、Ambassadorsからのメッセージ動画をリコチャレHP及び男女共同参画局公式YouTubeにて公開。

【主な活動】

1. 地方公共団体や学校等において開催されるセミナー、シンポジウムでの講演等
2. 広報誌やWebサイト上でのメッセージ発信
3. その他本事業の趣旨に鑑み相応しい活動



Ambassador一覧（令和5年12月1日時点） ※敬称略・五十音順	
阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル執行役員兼インド現地法人代表取締役会長
杉本 雛乃	学生（東京大学大学院工学研究科バイオエンジニアリング専攻・2018ミス・インターナショナル日本代表）
ズナイデン房子	日本マクドナルド株式会社 取締役上席執行役員 CMO
田中 純子	広島大学理事・副学長/ 大学院医系科学研究科特任教授
玉城 絵美	H2L,Inc.CEO、琉球大学工学部教授
中島 さち子	音楽家、数学研究者、(株)steAm代表取締役
行木 陽子	中央大学 特任教授
山崎 直子	宇宙飛行士
渡辺 美代子	日本大学 常務理事、NPO法人ウッドデッキ 代表理事

令和5（2023）年度イベント予定数 （※令和5年12月1日時点）			
令和5（2023）年度イベント（予定）数			18イベント
令和5（2023）年度イベント参加（予定）者数			3,800名
令和5（2023）年度実施済イベント （※令和5年12月1日時点）			
実施日	実施地域	イベント・派遣先学校名	参加者数 (概数)
05/17	佐賀県唐津市	佐賀県立唐津東中学校	360名
06/30	佐賀県武雄市	佐賀県立致遠館中学校	360名
07/04	島根県山陽小野田市	山陽小野田市立竜王中学校	200名
07/07	佐賀県武雄市	佐賀県武雄青陵中学校	360名
8/1,9,10	栃木県大田原市、 栃木市、宇都宮市	理工系の魅力発見 WORKフェスタ 2023	120名
09/04	山口県萩市	山口県萩市立大井小中学校	30名
09/25	北海道釧路市	北海道釧路湖陵高校	190名
10/13	島根県大田市	島根県大田市立第一中学校	410名
10/20	佐賀県鳥栖市	佐賀県立香楠中学校	360名
10/26	北海道函館市	北海道函館中部高等学校	90名
10/31	北海道北広島市	北海道北広島市立緑陽中学校	110名
11/28	佐賀県佐賀市	佐賀県佐賀大学教育学部附属中学校	400名



夏の理工チャレンジ

【おすすめポイント！】

- 生徒の夏休み期間を活用して、全国各地の企業・大学・学術団体等が理工系の仕事体験や女性技術者との交流イベントを実施！
- 生徒の方々が将来を考える一助に！
- 夏休みの課題としても活用いただけます！
- 地元企業のイベントについて、積極的な広報にご協力ください！

【昨年度実施イベントはこちらから】

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/event/2023/summer.html>



「夏の理工チャレンジ2024」は、現在実施団体募集中です。特設サイトは5月下旬に公開予定です。お楽しみに！

理工系のお仕事体感しよう！理工系に進むとどんなお仕事があるの？

RIKOCHALLENGE SUMMER OF 2024

夏のリコチャレ2024

さあ、この夏、ステキな理工系の未来を探しにいきませんか？！



職場見学・仕事体験・女性技術者や研究者との交流など理工系の仕事や将来に触れられるイベントを開催します。普段は見られない、ものづくりや建設の現場を見たりステキな理工系女子の先輩の話を聞いたり！貴重な機会です！

2024年6月～9月まで
オンライン・全国各地にて開催



くわしくは内閣府「理工チャレンジ(リコチャレ)」サイトへ <https://www.gender.go.jp/c-challenge/>

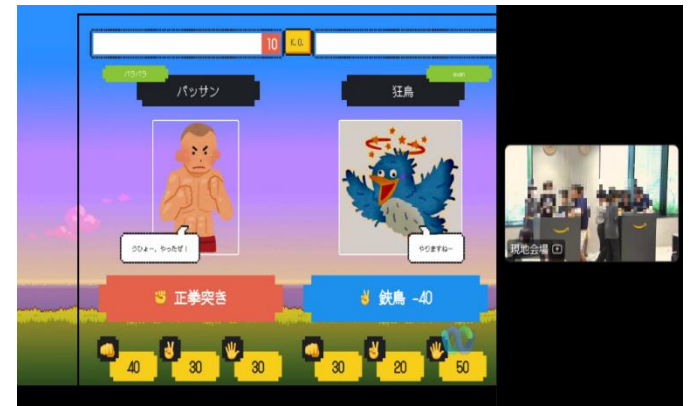
夏のリコチャレ2023 ～理工系のお仕事を体感しよう！～

【事業概要】

- ・主に女子中高生等を対象に、夏休み期間を利用して、企業・大学・学術団体等が実施する理工系女子応援イベントに関する広報事業。
- ・内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会の共催事業。
- ・**職場見学、工場見学、シンポジウム、実験教室、先輩女性社員との交流等**



子ども霞が関見学デー「求む！未来の理工系女子！」
(株式会社エスワイシステム・内閣府男女共同参画局)



クラウドで「作って」みよう！一日ITエンジニア体験
(Advancedコース)
(Amazon 夏のリコチャレ実行委員会)

【参考】

●夏のリコチャレ2023開催実績

96団体162イベント

6,300名以上が参加



電気通信大学匠ガールプロジェクト
「夏休みは電通大でラボ体験2023」
(電気通信大学)



建設技術の最先端を体験しよう！
(株式会社大林組)



若手理工系人材 による出前授業

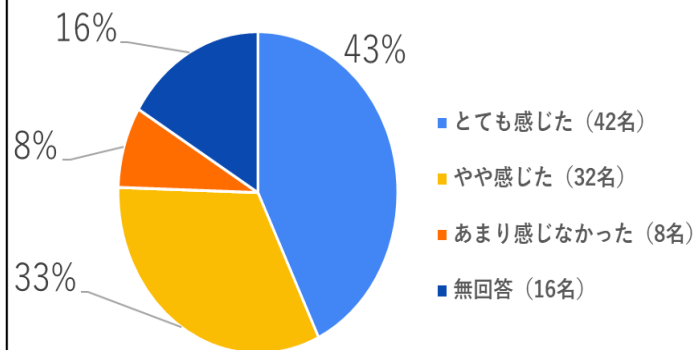
【おすすめポイント！】

- 人口5万人未満の市区町村を対象に、地元の企業や大学等で活躍する若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業を実施します！
- 内閣府が費用負担しますので、原則各団体の費用負担はございません。
- イベント開催のノウハウが分かるので、今後、団体独自にイベントをする際のモデルケースにもなります。

【実施自治体募集中！】

現在、令和6年度実施自治体募集中！
参加を希望する団体は、3月29日（金）
までに、内閣府男女共同参画局理工
チャレンジ事務局あてに、エントリー
シートを提出してください！

イベントを通じて、
理工系の魅力を感じた生徒の割合





若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業

●事業の目的

人口5万人未満の市区町村を重点的に対策すべき地域と定め、若手理工系人材による出前授業を実施することで、女子生徒の理系的体験の機会の創出と、地域におけるロールモデルの掘り起こしを目的とする。

●事業概要（令和5年度）

- ・実施時期：令和5年9月～令和5年12月
- ・実施地域：3地域（人口5万人未満の市区町村から選定）
 - 佐賀県基山町
 - 福島県喜多方市
 - 長野県阿智村
- ・参加対象：小・中・高校女子生徒（男子生徒も可）・保護者・教員・地域住民等
- ・参加者数：100名程度（地域の教育委員会や学校と連携して募集）
- ・ロールモデル：理工系分野への従事期間が10年以内の若手女性人材（1地域3名）
（当該地域の地元企業・大学・研究機関等で活躍する理工系人材等）
- ・プログラム：ロールモデルの講演や専門分野に応じた実験等の体験（2～3時間程度）
- ・参加者アンケート：出前授業の満足度、理工系進路選択への興味関心度、理工系進路選択についてのメリット・デメリット等



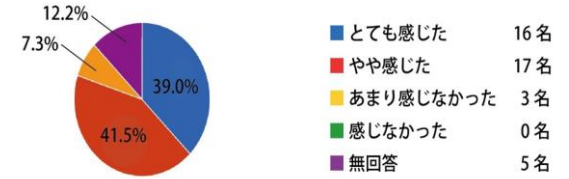


若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業 実施結果（佐賀県基山町）

【令和5年度開催実績（佐賀県基山町）】

参加者数：中学生：41名、保護者・教員6名

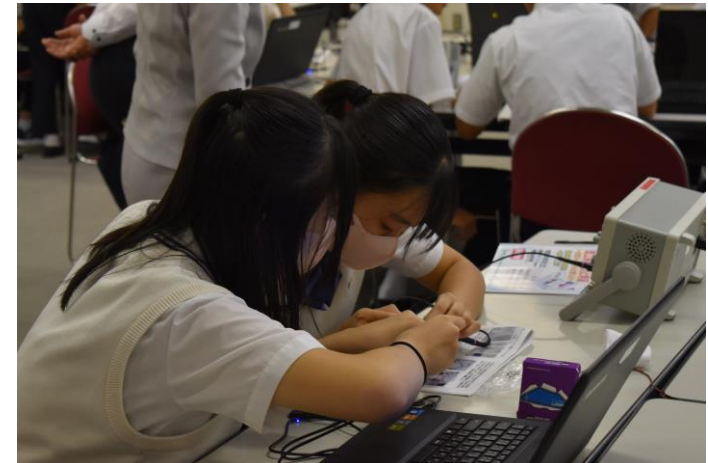
イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒の割合：**80.5%**



【イベント内容】

講演	1部 ロールモデル講演	9:00 10:10	<p>●国語好きが理系進学を決心！ ～省エネ素材の研究開発に貢献～ 佐賀大学理工学部化学部門 大竹 亜紗美 先生</p> <p>まだ文系を目指すか理系を目指すか決めていない皆さんに、様々な人の経験談を聞いて、それぞれの道を見つけていただけたら嬉しいです。理系についての知識を深めることで、私のお話が皆さんの興味を引くきっかけになれば幸いです。</p> <p>●「好き」エネルギーが導いた天職 ～きっかけはF1のTV観戦！～ 佐賀大学海洋エネルギー研究所 鶴若菜 先生</p> <p>未来の道に迷う皆さんへ。私も同じように迷いましたが、その中で自分が本当に「好きなこと」に向き合い、理系進学を選びました。機械系で学ぶこと、これまでや現在行っている研究、社会にどう役立つのかをご説明します。</p> <p>●理系大学院生からのメッセージ ～後悔しない進路選択～ 佐賀大学大学院 先進健康科学研究科 先進健康科学専攻 生体医学コース 安達 結生 さん</p> <p>今、学んでいる研究内容や電気電子系の魅力についてお話しします。また、よくみなさんが悩む中高時代の進路選択について、私の場合をご紹介しますので参考にいただければ幸いです。この講演をきっかけに、みなさんの進路選択についてしっかりと見つめ直してほしいと思います。</p>	 化学系 機械系 電気系
		10:20 10:40	<p>●これからの「進路」の話をしよう ーダイバーシティ入門講座ー 佐賀大学ダイバーシティ推進室 副室長 荒木 薫 先生</p> <p>プロフィール 長崎県佐世保市生まれ、佐賀大学医学部医学科卒業、博士(医学)。小児科専門医、産業医。小児科医として佐賀県内の医療機関に勤務した後、2017年より佐賀大学ダイバーシティ推進室副室長に就任し、大学内のダイバーシティ推進や女子中高生向け理系進路選択支援等を積極的に行っている。</p>	
		10:40 11:10	<p>●理工学系出身者の活躍について ～どんな就職ができどんな職種に就けるの？～ 佐賀大学理工学部 佐藤和也 先生 (理工学部副学部長、理工学部就職委員長)</p>	
実験	3部	11:25 12:10	<p>●佐賀大学の先生と一緒に電気実験にLet's Try! 電気実験 一脈の振動でLEDを光らせようー</p> <p>佐賀大学理工学部 理工学科 電気電子工部門 木本 晃 先生 福本 尚生 先生</p>	

【授業の様子】



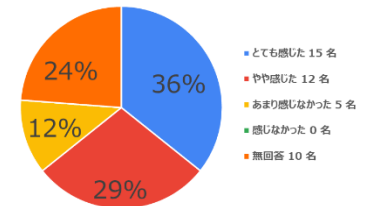


若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業 実施結果（福島県喜多方市）

【令和5年度開催実績（福島県喜多方市）】

参加者数：小学生：49名、保護者・教員・一般：44名

イベントを通じて理工系の魅力を感じた児童の割合：**65%**



【イベント内容】

【授業の様子】

プログラム

13:00-13:05 開会のあいさつ

IT教室



講演1 13:05-13:45(40分)「ITエンジニアと学ぼう! ITのこと」

●株式会社アクシス ITエンジニア 田中リナ先生

田中先生が、デジタルの世界を支えるスペシャリスト、ITエンジニアのお仕事について教えてくれるよ。インターネットやスマホの常識、知っているとかっこいいITのことばも学ぼう! クイズ大会「IT知識王 決定戦!!」にみんなで挑戦! 賞品もゲットできるかも?!

13:45-14:00 休けい

バイオ教室



講演2 14:00-14:45(45分)「おいしさのサイエンス! 発酵ってすごい」

●東光醸造元 株式会社小嶋総本店 事業開発室 ノンアルコール事業担当 五十嵐有佳先生

おいしさは科学だ! 発酵食品ってよく聞くけど、一体何なの? そんなキミに必見の授業。五十嵐先生が、おいしさが生まれるメカニズムを分かりやすくお話しします。実際においしさをつくらせてくれている生物(?)をみんなで観察します!

14:45-15:00 休けい

素材教室



講演3 15:00-15:45 (45分)「福島発! 世界にひろがる科学技術」

●日東紡績株式会社 総合研究所 ファイバー研究開発センター 風間瑞生先生

福島が世界にほこるすごい素材、知ってる? 素材の研究開発を担当している風間先生が、ガラスクロスの不思議な魅力を大公開! 実際に見て、触れて、体験し素材のすばらしさを感じてみよう!

15:45-15:50 閉会のあいさつ



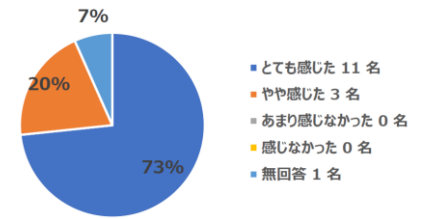


若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業 実施結果（長野県阿智村）

【令和5年度開催実績（長野県阿智村）】

参加者数：小・中学生、高校生：16名、保護者・一般：30名

イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒等の割合：**93%**



【イベント内容】

ものづくりのお仕事の魅力！科学現象を見てみよう！

講座1

レンズ技術 光基礎原理 「オンリーワン技術で世の中から頼りにされるものづくり」

講師：夏目光学 株式会社（技術本部 事業開発課 所属）
エステイリオレ・シェルメル さん



「地元の良い会社に就職したい！」そんな思いからものづくりの世界へ足を踏み入れました。私が携わる技術が医療、宇宙、半導体など幅広い世界で用いられ、世の中に貢献していることにやりがいを感じます。講座では、光の基礎原理を体験する実験を行います。

講座2

電磁気学 電磁石を用いて動作原理を解説 「身近なテクノロジー、電磁石のカ～ものづくりの魅力～」

講師：富士通コンポーネント株式会社
（リレー製品統括ディビジョン 所属）
原 詩織 さん（阿智村出身）



自動車の車載リレーの製品設計や寿命試験や部品選定などを行っています。講座では、中学での進路選択から高専時代と現在の仕事の話、そして、電磁石を用いた実験も行います。

講座3

センサー技術 風速センサー 「電子技術で世界の食糧難を救う！ 生物の知識を生かして社会課題解決へ」

講師：KOA株式会社（新事業開発 所属）
花岡 実桜 さん



子どものころから身の周りの生き物や現象に興味があり、大学では海洋生命科学を学びました。講座では、私の進路選択のお話や、今の携わっている開発の話のほか、風速センサーをご紹介します。「風の見える化」を体験していただけます。

信州大学の 教授と学ぼう！ 超伝導実験



信州大学 理学部
中島美帆 教授

金、銀、銅やアルミなどの「金属」は電気をよく通し、電気抵抗の小さい物質ですが、低温にすると、この性質はどう変化するのでしょうか？講座では、金属の不思議な現象を体験いただけます。

お申込み方法は裏面へ

【授業の様子】



進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来2023

動画公開セミナー



【おすすめポイント！】

- 理工系の様々な分野で活躍する方々による女子生徒等に向けたメッセージ動画を男女共同参画局YouTubeにて発信
- 理系選択の先にどんな未来があるのか、理工系に進んだ先輩方からのメッセージは、生徒の方のみならず、保護者や教員の方にも参考にさせていただきます！
- 一人5～10分程度の動画で、授業の一環や、夏休みの課題としても活用いただけます。
- 令和6年度も準備を進めています！
公開後、改めてご連絡いたしますので、楽しみに！

【動画視聴はこちらから！】

https://www.gender.go.jp/c-challenge/video/seminar_202307.html



基調講演

河野 銀子

KAWANO GINKO
学術研究院（地域教育文化学部担当）
教授

理系で広がる
私の未来
2023



プロフィール
高校卒業まで徳島県内の海や川に面した地域で育ち、大学・大学院時代を東京で過ごしました。大学院の頃に休学して国会議員の秘書を務め、育児休業法制定のために議員と共に奔走しました。山形大学着任以来、四半世紀以上を山に囲まれて暮らしています。
専門分野は教育社会学で、とくに女子・女性の進路やキャリアの選択とその背景を分析してきました。女性校長や女性研究者等に関する共同研究の成果は本として出版しています。



講演

榎間 由幸

URUMA YOSHIYUKI
米子工業高等専門学校 総合工学科
化学・バイオ部門 教授

理系で広がる
私の未来
2023



プロフィール
2007年 大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了博士（理学）
2007年 国立米子工業高等専門学校物質工学科助教
2013年 国立米子工業高等専門学校物質工学科准教授
2018年 ノースカロライナ州立大学 客員研究員 Prof. Lindsey
2020年 国立米子工業高等専門学校総合工学科化学バイオ部門 准教授（改組による名称変更）
2023年 国立米子工業高等専門学校総合工学科化学バイオ部門 教授



理系で活躍する先輩による経験談発表

澤田 莉沙 SAWADA RISA

元 国立研究開発法人物質・材料研究機構 国際・広報部門
広報室 NIMS特別専門職

理系で広がる
私の未来
2023



プロフィール
筑波大学出身のサイエンスコミュニケーター。教育大学で理科教育を学んだ後、「科学を伝えるには、まずは自分がどっぷり科学に浸りたい」と考え、他大学の生物系大学院へ進学。お魚の体表模様について研究を行い、博士課程修了後に水族館の解説員として就職。自分の専門分野を超えた科学にも興味をもち、材料研究を行っている物質・材料研究機構に転職。その後、現職の広報室員として研究成果の広報活動や論文調査を行っている。



塩田 佳代子 SIODA KAYOKO

Boston University School of Public Health ホストン大学公衆衛生大学院
Assistant Professor of Global Health アシスタントプロフェッサー（国際保健）

理系で広がる
私の未来
2023



プロフィール
国際保健・感染症学の研究者。東京大学獣医学部を卒業後、公衆衛生学を学ぶために渡米。エモリー大学にて公衆衛生学修士号を取得したのち、米国際保健管理予防センター（CDC）にて勤務し、感染症サーベイランスやアウトブレイク調査を担当。その後イェール大学にて感染症管理修士号を学び博士号を取得。現在はホストン大学にてアシスタントプロフェッサーとしてワクチン学や動物由来の感染症の研究に従事。世界保健機関（WHO）統計コンサルタントも務める。



星野 歩子 HOSHINO AYUKO

東京大学 先端科学技術研究センター
細胞連関医学分野 教授

理系で広がる
私の未来
2023



プロフィール
2006年東京理科大学理学部卒業。2011年東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了（生命科学学士取得）。2010年コーネル大学医学部小児科客員研究員として配属後、Postdoctoral Fellow(2011-2015年)、Research Associate(2015-2016年)、Instructor(2016-2019年)を経て、2019年よりコーネル大学客員小児科非常勤助教。2019年東京大学博士課程修了。東京大学客員研究員、さきかけ研究員(兼任)。2020年ニューヨーク大学スタンダード工科大学 バイオインフォマティクス高度専門士(バイオインフォマティクス)の学位取得。2020年東京工業大学生命理工学専攻准教授。2023年3月より東京大学 先端科学技術研究センター教授。



木戸 智晶 KIDO CHIAKI

ソフトバンク株式会社KIDO“-エイト”R”(技術本部
IoT”R”(統括部)技術開発1部 IoT”R”(技術1課

理系で広がる
私の未来
2023



プロフィール
大学は法学部で、卒業後は営業・事務職を3年程度経験し、その後IT業界へ移りました。IT業界では10年程度仕事を続けていますが、ずっとモバイル通信の無線部分を担当しています。モバイル通信は2007年開始した無線通信の発展に伴って動いています。その中で、私自身もIT業界でIT技術者として働くことに。異なった動きをしていなくても判断する事が私の仕事です。





調査研究等

【おすすめポイント！】

- 令和2年度調査研究では、教員等の指導者の方々へ向けて、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を払しょくするための啓発資料を作成しました。
- 令和4年度調査研究では、保護者や教員の方々に向けて、アンコンシャス・バイアスへの気づきを促すことを目的とした動画を、男女共同参画局YouTubeチャンネルにて公開しました。
- 令和5年度調査研究では、身近で多様なロールモデル事例集を作成予定。現在、完成に向けて準備中です。作成できたら改めてご連絡します。
- これらの資料・動画・事例集を是非ご活用ください！

【調査研究等の資料はこちらから】

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/materials/index.html>



令和2年度

男女共同参画の視点を取り込んだ
理数系教科の授業づくり

～中学校を中心として～



令和4年度



令和2年度調査研究 男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり ～中学校を中心として～

【事業概要】

教員等の指導者の方々へ向けて、

○男女共同参画の視点の必要性

○無意識に持っていた固定概念・考え方や言動への気付き

<無意識に行っている言動>

- ・テストの点数の良かった女子生徒に、「女子なのに数学／理科ができて、すごいね」と言葉をかけている
- ・理科の実験授業において、操作は男子、記録は女子、という生徒間の役割分担が自然とできており、それに任せている

○男女共同参画に配慮した理数授業の事例

○教員のアドバイスをきっかけに理数系に進んだ女性の事例

等から構成される、啓発資料「男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり～中学校を中心として～」を作成。



▲じゃんけんをしながら確率を計算する様子



▲授業で生徒が作成したイルミネーションの一部



▲生徒が実際に行った板書発表の内容

⇒ 文部科学省と連携して普及を図り、教員等の指導者の無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の払しょくに取り組む。

※文部科学省から都道府県教育委員会に対し通知を发出し、文科省HPにリンクを掲載。

啓発資料

第3章：H頃のふるまいを振り返ろう

■第3章の目的

この章では、誰もが持っているアンコンシャス・バイアス（潜在的に行っている思い込み）に自ら気づき、男女共同参画の視点を踏まえた授業の実現に向けたふるまひや生徒との話し方についてどのように改善の思い込みを明確にするための活動を紹介します。
なお、本書の第2章「自分を知らう」に挑戦している研修者も併せて読んでください。自身のバイアスに気づくための1つの方法です。

『「数学科」を振り返ってみたい』の解説

自分分かった数学科の話を、以下の観点で振り返ってみましょう。

人種	性別	職業、位
髪型	居住地（どこにいるか）	行動（何をしているか）

○イギリスとアメリカの学校でこの活動を体験したところ、大多数の生徒が白人で、職業をあげ、髪を生やして、歩いているか髪を染めたか、1→1=2のような簡単な公式が書かれた黒板の前に行っている様子を撮りました。

○近年の研究によると、社会の男女平等が進んでいるにも関わらず、女権を数学学習として認識している人は男女とも非常に少ないということが指摘されています。また数学科のみならず科学全般についても同様の研究結果が出ています。こうした状況を改善するには、理工分野における女性のロールモデルを周知し、適宜に数学科として認められた女性価値観の浸透した課題を探ることが重要であると考えられています。

振り返ってみてみていかがでしたでしょうか？数学科やその他の研究を題材にした、生徒と一緒に振り返って、新たな気づきを得ることができればよいでしょう。

【キーワード】男性優位/ジェンダー・ステレオタイプ

■指導者教育事例

2020年にオーストラリアの学校で公開された教育研究プログラムに掲載されている活動の中から、本書では数学科に関する以下の3つを紹介します。

No.	活動名	対象者	活動概要
1	ジェンダーバイアスと数学科	教員	✓ 経験的に存在した生徒のロールモデルを見ながら、その生徒が将来どのような教育を受けるか
2	数学科に対する態度	教員、生徒	✓ 生徒に同じアンケートを実施し、教員が結果を分析する（生徒が結果を分析することも可能である）
3	授業の観察	教員	✓ 教員が同様の授業を観察し、男女を公平に扱っているかチェックする

出典：Kogut, H. & Leeb, G. Gender and Mathematics Supplementary Materials, Issues in the Teaching of Mathematics, State of Victoria Department of Education and Training, 2020.



▲男女別グループでの実験の様子

令和4年度調査研究 女子生徒の理工系進路選択を阻害する アンコンシャス・バイアスへの気づきを促す啓発動画

【事業概要】

- ・「女子は数学が得意ではない」等のアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が、女子生徒の理工系進路選択を阻害することがあります。
- ・そうしたアンコンシャス・バイアスへの気づきを促すことを目的とした動画を、男女共同参画局YouTubeチャンネルにて公開しました。
- ・動画は、学校の授業や実験における教員の声掛け、家庭における保護者の反応など、4つの事例から構成されています。

★動画は下記より御覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=j97LxeLB-TQ>

Case1



★数学で高得点を取った女子生徒に教員が掛けた言葉は・・・

Case2



★理科の実験で器具操作と記録の役割分担が指示されるが・・・

Case3



★ガスバーナーの扱いに慣れていない女子生徒への教員の配慮は・・・

Case4



★工学部の大学案内を見て楽しそうに話す女子生徒への母親の反応は・・・



Webサイト「理工チャレンジ」



女子中高生・女子学生の理工系分野への選択

【おすすめポイント！】

- 「理工チャレンジ」に関する様々な情報を発信
- 特に、**先輩からのメッセージ**では、**約300名の理工系分野で活躍する先輩方**が「理工系分野に選択した時期・理由」「現在の仕事の魅力や面白さ」を教えてくださいます。具体的なイメージが湧き、ロールモデルも見つかるはずです！
- 気になる先輩に**質問することも可能**です。ご質問お待ちしております！

【先輩からのメッセージはこちらから】

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/senpai/index.html>



女子中高生・女子学生の理工系分野への選択



先輩からのメッセージ

[「先輩からのメッセージ」のトップページに移動](#)



酒井 希実さん

▶[協建株式会社](#) 工事部アセットマネジメント部門

先輩に質問！

2017年に入社し、工事全体の管理やICT関連業務など、現場に携わった仕事をこなす、土木技術者として働き出し二年が経ちました。大学を卒業するまで、土木についての勉強をしたことはありませんでしたが、その分、日々新しい発見があり毎日が勉強で、充実した日々を過ごせています。

理工系分野を選択した時期・理由

短大2年生の時に、合同説明会で聞いた「地固に残る仕事」「地域の為の仕事」という言葉に感銘を受けて入社を決めました。自分の住んでいるところが自然に囲まれていることもあり、自然に携わる仕事がしたいと思ったこと、そしてずっと住んできた地元の為に関わりたい！そう感じたことも土木技術者の道に進むきっかけになりました。

現在の仕事（研究）の魅力やおもしろさ

橋を架けたり、道路を作ったり、様々な工種を経験できることが魅力的です。そして、現場は毎日少しずつ完成に近づいていく、そんな日々変わる現場を間近で見られることも、現場に携わる人たちの特徴だと思います。そして、学生の頃に経験した「何かを成し遂げる為に、みんなで頑張る」という行為も経験できます。それも、現場毎に関わる人が違う為、その毎度新しい喜びを得ることができます。『誇りある分、達成感がある』建設業界にはこの言葉がピッタリだと思います。

女子中高生・女子学生の皆さんへのメッセージ

『土木』と聞くと、毎日汗を流し、泥まみれになりながら頑張る仕事…そんなイメージをもたれる方が多いと思います。私もそう思っていました。実際は3次元のデータを作成したり、業者の方と打ち合わせをしたり、対外的な仕事が大半を占めています。安全かつ期限内に工事が完了できるように様々な仕事をこなしていく、それが建設業です。普段何気なく通っている橋や道路を、実際に作る側になってみると、ありがたいなと思うことが増えました。前に担当していた現場では高速道路の橋脚をつくる工事をしていましたが、その場所を選ぶたびに「私が関わった場所だ」と達成感を見えます。私達の仕事は、今も未来も大切にするお仕事です。自分の大好きな地域を守り・支えていける建設業界と一緒にチャレンジしてみませんか？

ウェブサイト「理工チャレンジ」

【事業概要】

リコチャレ応援団体（※）の紹介、イベント等の掲載。そのほか、先輩理工系女性からのメッセージを掲載するとともに、質問も可能。

※リコチャレ応援団体：885団体（令和5年10月1日現在）

団体数内訳（行政機関：53団体、企業：279団体、学術・研究機関等：140団体、大学等：367団体、その他：46団体）

※先輩からのメッセージ：約300名の理工系分野の先輩

分野別（理学系、工学系、農学系、商船系、保健系、家政系、その他の分野）

団体別（大学・短期大学、高等専門学校、専門学校、企業、学術・研究機関等、行政機関、その他の団体）

就職見学・仕事体験、女性活躍や研究等との交流など理工系の仕事や将来に携われるイベントを開催します。最新設備や最新のものづくりや建設の現場を見学し、ステキな理工系女子の先輩の話を聞いたり！貴重な機会です！

イベント一覧

イベント登録 (イベント参加費は280円)

【新着情報 (事務局より)】

- NEWS 2023年7月7日 「建設で人生が変わる？理工系で広がる未来2023」を公開しました。
- NEWS 2023年5月19日 「夏のリコチャレ2023」理工系の仕事体験しよう！」を公開しました。
- NEWS 2023年3月30日 女子学生等の理工系建設職を推進するファンクション・リノ（Fノ）の発行を促す啓発動画を公開しました。

「リコチャレ応援団体」理工系女子応援ネットワークの紹介

※団体別に一覧に転送。企業一覧に転送

旭建設株式会社

高松県日高町新江町1丁目200番地
旭建設株式会社

紹介概要

「憧れに合った」「近くあった」「安心して暮らせる」「ありがたい」ただその言葉をもう言けない、苦戦に陥れる仕事、既知し（既知なし）、発注者なし、企業なし、未来もなし」を目指して、昭和34年創業からきた経験を活かし、「土木の強」を追求しています。「地域良し」として地域に密着したボランティア活動（地域貢献活動）を、「発注者良し」として発注者の仕事を完了させ、「企業良し」として社員の人権向上を目指し、「未来も良し」として未来を担う子供たちに寄り添う心をもっています。当社は土木工事の施工管理を主な仕事としており、建設・土木科出身の技術者だけでなく、様々な学科の人材が活躍しています。そして「両に考える」の精神で、危険ゼロを目指し、安全と健康の確保を最優先としながら業務を行い、継続し続ける会社であり続けます。

理工系分野・部門の紹介

当社は 建設や設備、推進・成長・トンネルといった主に官公庁の土木工事一貫を行う建設業です。暮らしや地域ののびに、豊かさと地域や国土を子世代の未来で残していくために日々取り組んでいます。当社の仕事は施工管理です。施工管理とは、上層管理や安全管理、品質管理などを現場で行い、発注者との台合せや現場での指揮を行う現場管理や監理業務が主な仕事です。女性の技術者も大いに活躍できる仕事です。現在では、多くの建設の企業で女性技術者が活躍の場を立って活躍しています。<<新人女性技術者の一日>>

入社2年目

酒井希実さん(23歳)の1日

5:30	起床
7:20	通勤
7:30	朝礼、KY活動

【希望する職種】
現場管理業務、安全管理業務、品質管理業務

「リコチャレ応援団体」理工系女子応援ネットワークの紹介

※団体別に一覧に転送。企業一覧に転送

理工チャレンジ

女子中高生・女子学生の理工系分野への選択

リコチャレとは? What's Riko-challe!

リコチャレ イベント情報 event information

先輩からのメッセージ message

リコチャレ応援団体 「理工系女子応援ネットワーク」の紹介 support group

リコチャレ応援団体 「理工系女子応援ネットワーク」の紹介 for university and cooperation

STEM Girls Ambassadors STEM Girls Ambassador

先輩からのメッセージ

酒井 希実さん

旭建設株式会社 工事現場アセットマネジメント部門

2017年に入社し、工事全体の経理やICT関連業務など、現場にまつ仕事にこなし、土木技術者として働き出し二年が経ちました。大学を卒業するまで、土木にこの一歩を踏み出したことはありませんでしたが、その分、日々新しい発見があり毎日勉強で、充実した日々を過ごしています。

理工系分野を選択した時期・理由

短大2年生の時に、合同研究会で聞いた「地域に携る仕事」「地域の為の仕事」という言葉に感銘を受けて入社を決めました。自分の使いたいところが自然と開かれていることもあり、自然に携る仕事がいいと思ったこと、そしてずっと憧れていた地元の高松に何かしたい！そう感じたことも土木技術者の道に進むきっかけになりました。

現在の仕事（研究）の魅力やおもしろさ

橋を架けたり、道路を作ったり、様々な工程を経験できることが魅力的です。そして、現場は毎日少しずつ完成に近づいていく、そんな日々変わる現場を前に見られることも、現場に携わる人たちの特徴だと思います。そして、学生の頃に経験した「何かを成し遂げる為に、みんなで頑張る」という行為も経験できます。それも、現場に関わる人が通う道、その輝かしい喜びを得ることが出来ます。『誇りた分、達成感がある』建設業にはこの言葉がピッタリだと思います。

女子中高生・女子学生の皆さまへのメッセージ

『土木』と聞くと、毎日汗を流し、泥まみれになりながら頑張る仕事…そんなイメージをもたれる方が多いと思います。私もそう思っていました。実際は3Dのデータを作成したり、業者の方と打ち合わせしたり、対外的な仕事が大半を占めています。安全かつ現場までに仕事が終わるよう様々な仕事をこなしていく、それが建設業です。面白いだけでなく、将来に携る道にもなっていると、知りたくなかったことと気づきました。前に出していた現場では高層建物の建設をつくる仕事をしていましたが、その場所を選んだらに『私が関わった場所だ』と達成感を見ました。私達の仕事は、今も未来も大切にその仕事を、自分の大好きな地域を守り、支えてくれる建設業と一緒にチャレンジしてみませんか？



第7回 理工系女子応援ネットワーク会議

【おすすめポイント！】

- 「夏の理工チャレンジ」の振り返りとして、毎年10月前後に開催。先進的な取り組みをした団体による事例発表やグループディスカッションを実施。
- グループディスカッションで、各企業・大学等が自治体・学校の方に期待していることについて、**生の声が聴ける。**
- 会議後は、希望者間で、連絡先の共有が可能。**横のつながりが生まれます。**

【理工系女子応援ネットワーク会議の資料はこちらから】

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/dantai.html>



第7回 理工系女子応援ネットワーク会議 開催報告



1 開催概要

内閣府は令和5年10月25日(水)に「第7回 理工系女子応援ネットワーク会議」を開催しました。オンラインで開催し、全国から72団体・101名に出席頂きました。

2 理工系女性人材の育成に係る基調講演

国立大学法人 電気通信大学より「匠ガールプロジェクトの概要と今後の展望」について、基調講演をいただきました。基調講演では、年度ごとのイベントの参加者数と志願者数の関係に着目し、将来に向けた長期的な視点が必要であることや、中高生を対象にしたイベント(ラボ体験)について、詳細なイベント内容をお話しいただきました。電気通信大学では、ラボ体験以外にも、企業の研究所見学ツアーを共催したり、女子学生の母校訪問を実施したりと多岐にわたる取組を展開されています。今後の展望では、イベントの継続化・認知度向上、保護者へのアプローチ等が重要であることを説明いただき、広い視点からリコチャレ事業の重要性についてご講演いただきました。



3 夏のリコチャレ取組事例発表

(1) 事例発表①

事例発表①では、アマゾンウェブサービスジャパン合同会社(以下、「AWS」といいます。)に発表いただきました。AWSでは、リモートと現地参加でのハイブリット開催を試み、全国各地から集客可能になったというメリットや、リモート参加者には、現地参加の方以上にインタラクティブなやり取りが必要である等のノウハウを共有いただきました。また、参加者からのフィードバックや、参加者の知識に応じてコースを複数準備するなどのイベント設計時の工夫についてご紹介いただきました。



(2) 事例発表②

事例発表②では、スリーエムジャパン株式会社(以下、「3M」といいます。)の取組を発表いただきました。3Mは、理工系チャレンジの活動が今年で5年目を迎えるということで、これまでの実績を踏まえ、昨年度までの活動で課題だった点や、今年度工夫されたこと等について発表いただきました。特に課題の一つであった集客を改善するための工夫として、SNS発信のみならず、メディアを活用したり、学校へ案内をしたりといった点は、イベント実施を検討している団体にとって大いに参考になりました。また、イベントの最後に1時間程度フリータイムを設けることで、イベント参加者がそれぞれの興味・関心に応じてより詳しく質問ができる等の工夫点についてご紹介いただきました。



4 グループディスカッション

本会議には、夏のリコチャレや独自の取組によりイベントを実施いただいている団体、イベントの実施に興味のある団体、地方公共団体等、様々な団体に参加いただきました。グループディスカッションでは、イベントを実施した団体から工夫点やノウハウを共有いただいたほか、これからイベントを実施したいと考えている団体の疑問点を解消していただくなど、参加者間で活発な意見交換がなされました。

理工系女子応援ネットワーク会議

【事業概要】

- 理工系女子応援ネットワークに登録した団体を主な対象として開催。取組に関心のあるリコチャレ応援団体と、自治体も参加
- 令和5年度は10月25日にオンラインで開催 72団体・101名が出席。
- 事例紹介、情報交換、団体間ネットワーキング等、今後に向けた連携強化を行う

【令和5年度開催内容】

1. 基調講演：国立大学法人 電気通信大学

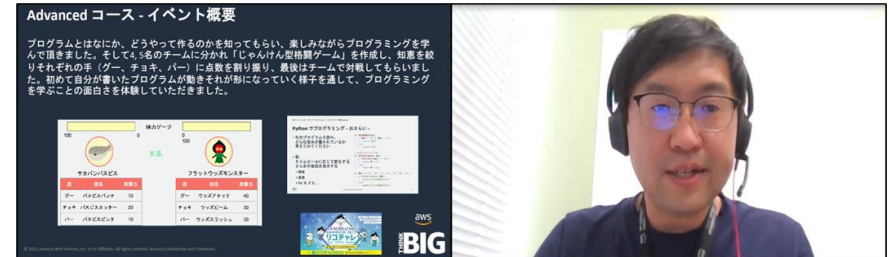
「匠ガールプロジェクトの概要と今後の展望」

- 長期的な視点に基づくイベント設計の重要性について
- 中高生向けイベント（ラボ体験）に関する実施内容について
- 今後の展望として、イベントの継続化・認知度向上、保護者へのアプローチ等に関する重要性について 等



2. 取組事例発表①：アマゾンウェブサービスジャパン 合同会社

- リモートと現地参加のハイブリッド開催におけるノウハウ共有
- 参加者の知識に応じて複数のコースを準備するイベントの工夫 等



3. 取組事例発表②：スリーエム ジャパン 株式会社

- 今年で5年目となる実績を踏まえた、課題意識や工夫
- 集客拡大に向けた取り組みについて (SNS発信、メディア活用、学校への案内等) 等



4. グループディスカッション

- イベント実施済みの団体からイベントや集客の工夫点の情報共有
- イベント実施に関する疑問点の質問確認、意見交換 等